

## クモヘリカメムシによる斑点米被害の特徴

### 【1 成果の概要】

- (1) クモヘリカメムシによる斑点米被害の特徴は以下のとおりです（写真1、2）。
  - ア 被害は比較的鮮明で、周縁部は黒く縁取られます。
  - イ 被害部に口器を刺した跡（赤矢印）が目立ち、その位置は縫合部付近が多いです。
  - ウ 玄米内部までの加害が見られ、被害部は白く粉状に変色し、変形します。
- (2) クモヘリカメムシ成虫は、7月下旬頃に水田周辺のエノコログサ等の出穂したイネ科雑草に飛来します。その後、水稻の出穂に合わせて水田に侵入、産卵します（図1）。



写真1 クモヘリカメムシ(左)とアカスジカスミカメ(右)雌成虫  
※図中のバーは1cm

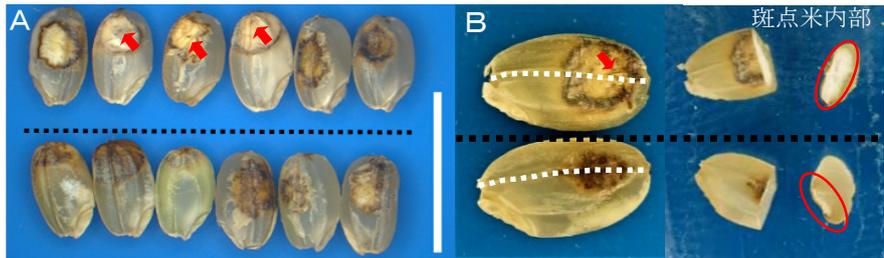
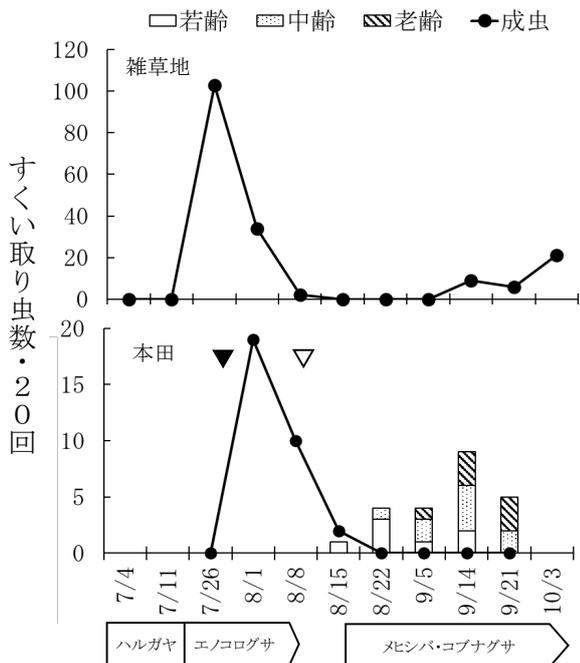


写真2 斑点米被害の比較(上:クモヘリカメムシ、下:カスミカメムシ類)  
※Aの白色バーは1cm、Bの白点線は縫合部



#### 【耕種概要等】

作付け品種: いわてっこ  
 出穂期 (▼): 7/27  
 カメムシ類防除 (▽): 8/10 (スタークル液剤)  
 本田内雑草: 発生無  
 畦畔部の主な雑草: ハルガヤ、メヒシバ  
 ・本田内では、8/1、8/8、8/22、9/5 に1~2頭カスミカメムシ類がすくい取られた。  
 ・陸前高田市の出穂した本田でも、クモヘリカメムシ成幼虫がすくい取られ、8月8日には産卵も確認された(写真)。



図1 釜石市唐丹町における雑草地及び本田内でのクモヘリカメムシすくい取り消長 (R4) グラフ下部に、雑草地で出穂していたイネ科雑草の種類、期間を示します。

### 【2 留意事項】

クモヘリカメムシは山田町以南の沿岸部、一関市花泉で発生を確認していますが、確認された地域においても、斑点米の主要加害種はカスミカメムシ類です。カスミカメムシ類の防除（出穂 10~15 日前の畦畔雑草の一斉刈り取りと穂揃期 1 週間後の薬剤防除）を徹底してください。